

高生研の学習会 対面でもオンラインでもどちらでも参加できます

高生研全国フォーラム公開講座



5月17日(土) 13:00~14:30 公開講座①

「Sからの宿題～揺らぎながら見えてきたもの～」 城塚俊彦

Sは小学校の頃、暴力も含むいじめを受け、それがトラウマとなり、対人関係に課題を抱えている。そんなSが、ゼロトレと家父長的な生徒指導を校風としている城塚の学校に入学してきた。授業に全く参加せず、指導にも従わず、他人とも関わろうとしないS。しかし、友人の働きかけや、体育祭や文化祭の取り組みを通して徐々に変化し始めるが、Sの心の傷は深く、うまく関係を作れず、再び殻に籠もり、そのまま卒業する。いままでのやり方が通用しないSの出現に教員集団は動揺する。Sの卒業後、「第2のSを生みだすな」というスローガンのもと教職員集団は体制の立て直し躍起となる。いっぽう、城塚もまた揺れる。Sをどう理解し、何をすべきだったのか。Sから出された宿題を今も持ち続けている。

5月18日(日)10:00~12:45 公開講座②

「先生はだめな担任だと思われてもいいの？」

～中高一貫校3年の学級づくり～ 小嶋裕人 (中等教育学校)

10月の文化祭で中心となったクラス委員のOやその友だちのKは手ごたえを感じたようだった。12月の合唱コンでも彼女たちは、率先してリードしてくれていた。しかし放課後練習に残らず帰ってしまう生徒、残っていても歌わず立っているだけの生徒もいる。無理に強制することはしたくない担任は、「塾で帰る」という生徒を許可した。OやKが泣きながら担任を非難する。他クラスのIからも「先生はダメな担任だと思われてもいいの?」と詰め寄られる。

しかし学年の最後にKは「自分たちのやりたいようにできて思い出に残った」「来年は学級委員をやろうと思う」と担任に行事の思い出と意欲を語ったという。

さて担任のスタンスはどう変わったのだろうか?

会場 成城大学 932 教室(9号館3階)(小田急新宿駅⇒急行15分 成城学園前駅から300m)

参加申込は、Webにて <https://kouseiken.jp/> (左QRコードからアクセスできます)

5/14までをお願いします。(対面は当日直接参加も可能) 主催: 全国高校生活指導研究協議会

